

## TOPICS

## 三次元測定機を使いこなすノウハウを伝授 —検査部門の中核技術者育成を百工塾で—

機械金属部 根田崇史(こんだ たかし)

konda@iriii.jp

専門：精密測定、塑性加工

一言：測定者の技能向上を支援します。



県内の機械金属製造業では、加工部品の検査装置として寸法や形状を測定する三次元測定機を導入する企業が増えています。しかしながら、三次元測定機では、部品の固定方法や基準の取り方などによって、測定結果に違いが生じることがあり、出荷後のトラブルの原因になることもあります。そのため、測定技術に関する相談が多く寄せられています。

工業試験場では企業の測定担当者に正しい測定方法を習得していただくため、本年度からの新しい研修事業「モノづくり百工塾」の一環として、「三次元測定機の測定技術コース」を実施しました(図1)。研修では一つの部品を順次、研修者各自の測定機を使って測定する「持ち

回り測定」も行い(図2)、参加した研修者は、結果を相互に比較することで測定方法による影響を理解することができました。また、本研修を通じて、企業の垣根を越え気軽に情報交換できる関係を築くことにもつながったと考えています。工業試験場には、いろいろな研修事業がありますので、興味のある方はお問合せください。



図1 研修風景(全4日間)

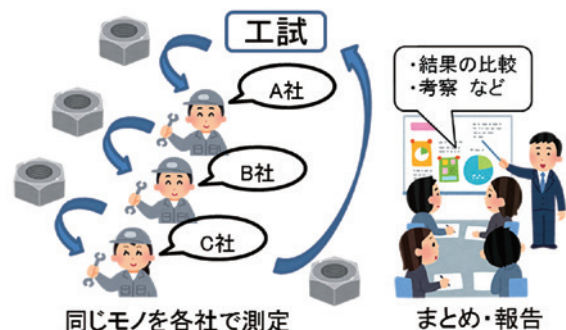


図2 持ち回り測定の概要